

上川中部リハビリテーション広域支援センター

活動目標

1：長期目標

急性期から回復期、慢性期、維持期まで切れ目ない情報伝達等の流れがスムーズにおこなわれること

2：中期目標（5年計画）

対象者に関する一貫した情報の流れ（在宅、維持期で必要な情報の整理）についてのシステム構築のための基礎作りをする

3：短期目標（1～3年計画）

上記 地域の情報収集および地域課題を抽出するために地域懇談会を開催する
地域連携パスについての情報収集をする

上記 寝たきりにさせない意識と技術向上のため、研修会を開催する

活動

- ・ 総会・理事会（年1回）
- ・ 作業部会（月1回程度）
- ・ 情報伝達手段試行（リハビリテーション手帳）
- ・ 研修会（年1回）
- ・ 懇談会（年1回）
- ・ 相談支援
- ・ 会報発行（年2回）

活動の達成度

- ・ 回復期病院から維持期に向けての情報伝達手段としてのリハビリテーション手帳を、平成21年12月より協力病院にてモデル事業として平成22年7月まで実施。試行後、手帳運用とそのシステム、手帳以外の形にできる連携の有無などについてアンケート調査実施し、部会で今後について検討中。
- ・ 旭川市以外の周辺地域での研修会開催（平成23年1月25日）

活動の問題点

- ・ リハビリテーション手帳については、初めてのことであり、試行錯誤で活動している。運用上では予算確保の問題がある。アンケート調査は個人情報に留意する必要があり対象者からの情報が十分に引き出せない。
- ・ 研修会で症例検討を行ったが、症例の説明が口頭で行われるため、症例の状態把握が難しく十分な指導やアドバイスが困難である。
- ・ 今後、新規の地域での研修会を開催したいが、当センターの活動内容を知らない地域もあり、研修会開催を提案しても受け入れてもらえないことがある。

他の圏域に質問したい事項

- ・ 各支援センターでは、予算確保のあり方についてどのようなスタンスで考えているのか伺いたい。

地域（地域住民）に向けての活動内容

- ・ 対象者を絞った形で、研修会と併せて懇談会を実施

広域支援センター代表者会議の日程について

- ・ 前年度同様の2月開催。